

農林水産委員会質問要旨

令和3年5月12日

玉木 雄一郎

(国民民主党・無所属クラブ)

- (1) 人・農地プラン実質化の初年度実績3%は、実質化が形骸化していることを示しているのではないか。取組み中の212万ha（全耕地面積の48%）及び未実施の48万ha（同11%）は、いつまでに終わるのか。（大臣）
- (2) 兵庫県で農地バンクと農業会議が合併し、農業委員会と密接に連携して農地の集積・集約を進めようとしている。これをモデルとして全国に広げるべきではないか。（大臣）
- (3) コロナでひとり親家庭の子どもの体重減が指摘されている。農林水産省は政府備蓄米を子ども宅食に無償提供しているが、年間300キロの上限や食育の取組要件がネックになっていると聞く。子ども宅食の補助金（支援対象児童等見守り強化事業）を所管する厚生労働省とも連携し、コロナ特例として上限や要件を緩和すべきではないか。（大臣、厚生労働省政府参考人）
- (4) 厚生連病院の員外利用規制の現状如何。今後規制が強化されることはないのか。（大臣）
- (5) 厚生連病院に対して、農協法で定める固定比率（自己資本に占める固定資産の割合）100%維持の規制はあるのか。持続的な事業運営をチェックするのであれば、固定長期適合率（自己資本と固定負債に占める固定資産の割合）をチェックすることで十分ではないか。（経営局長）

〔答弁者〕

大臣（副大臣、政務官陪席可）

〔政府参考人〕

経営局長、政策統括官、厚生労働省政府参考人

※要旨対応、問合せ可。

以 上